

パン加工に適する小麦新奨励品種「ゆきちから」

福島県農業試験場 種芸部・会津支場・相馬支場
平成10年度～14年度麦類奨励品種決定調査成績書
分類コード 02-02-01041300

部門名 普通畑作物－小麦－品種－生理・生態－施肥法

担当者 丹治克男・二瓶直登・齋藤弘文・渡部 隆・齋藤正明・大谷裕行・菅田 充・木田義信

I 新技術の解説

1 要旨

- (1) 「ゆきちから」は「アオバコムギ」に比べ、次のような特性を持つ(表1)。
 - ア 出穂期はやや遅く、成熟期は「アオバコムギ」並の「中の晩」である。
 - イ 耐倒伏性は「アオバコムギ」に優る「強」で、耐寒雪性は「強」、うどんこ病及び赤さび病抵抗性はいずれもアオバコムギに優る「強」、穂発芽性は「アオバコムギ」並の「中」である。
 - ウ 粒質は「硝子質」で、外観品質は「アオバコムギ」並に良好である。
- (2) 耐肥性が高く、適正な施肥管理により収量・子実蛋白ともに向上する(図1)。
- (3) パン加工適性は高く、パン用市販粉と同程度の加工適性を持つ(図2)。

2 期待される効果

- (1) パン加工適性が高く、本県産のパン用小麦粉の安定・高品質化がはかられ、県内加工食品業の活性化と地産地消の推進に寄与できる。
- (2) 耐寒雪性が強く、会津平坦から山間地まで、大型機械化体系による小麦栽培が可能となる。
- (3) 中華めんへの加工適性も高く、会津を中心とした加工食品業の活性化と地産地消の推進に寄与できる。

3 適用範囲

根雪期間100日以下の地帯に適用する。

4 普及上の留意点

- (1) 収量の向上およびタンパク質含量を高めるため、越冬後(幼穂形成期)と出穂期に適正な追肥を施用する。
- (2) 品質確保のため、収穫は適期に行う。

II 具体的データ等

特性	長所 1 パン加工適性が高い 2 耐寒雪性強 3 耐倒伏性強 短所 1 穂発芽性中 2 少肥では低収					
普及地帯	会津平坦部及び中通り・浜通り 150ha					
試験年次 (播種年)	平成12年～13年 (播種年) ドリル播					
調 査 地	福島県農業試験場 (郡山市)		福島農試 会津支場 (会津坂下町)		福島農試 相馬支場 (相馬市)	
系統名・品種名	ゆきちから アオハコムギ		ゆきちから アオハコムギ		ゆきちから アオハコムギ	
早 晩 性	中 中		中 中		中の晩 中の晩	
出穂期 (月日)	5.03 5.03		5.09 5.07		4.28 4.28	
成熟期 (月日)	6.13 6.14		6.21 6.20		6.17 6.19	
稈長 (cm)	88 95		83 89		94 95	
穂長 (cm)	8.4 7.7		9.2 9.2		9.5 8.7	
穂数 (本/㎡)	518 593		381 400		807 952	
生育中の障害	倒伏	0.0 1.0	0.0 3.0	1.0 4.0		
	赤さび病	0.0 0.0	0.0 0.0	— —		
	うどんこ病	0.0 0.0	0.0 0.0	— —		
	赤かび病	0.0 0.0	0.0 0.0	— —		
	雪腐病	— —	0.0 1.5	— —		
子実重 (kg/a)	47.5 56.4		42.5 42.6		71.0 74.7	
収量比率 (%)	89 100		99 100		95 100	
千粒重 (g)	38.3 41.9		38.3 40.0		39.2 41.6	
リットル重 (g)	765 758		777 791		768 790	
外観品質	4.0 3.5		3.0 3.0		3.0 4.0	

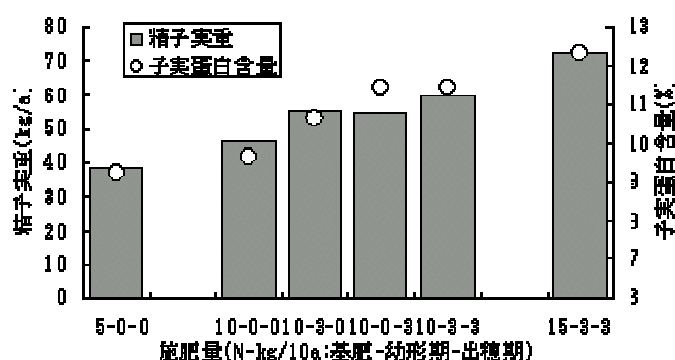


図1 施肥法と収量・品質
(福島農試、2002年度)

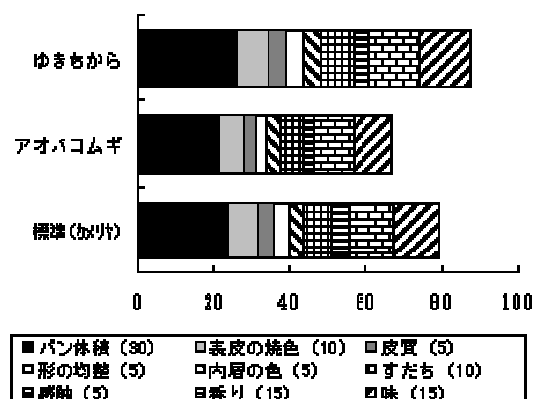


図2 パン食味試験の評点
(東北農研、1999～2001年度)

Ⅲ その他

1 執筆者

丹治克男・佐藤 誠

2 主な参考文献・資料

平成14年度東北農業研究成果情報